

## ご挨拶

新春をむかえ、ご健勝にお過ごしのことと存じます。能登半島地震により亡くなられた方に、お悔やみを申し上げますと共に、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。ささやかですが、党として駅前街頭募金(約47万円)と区内団体さんより、義援金(70万+71万、計141万円)のお手伝いもさせていただきました。

国民全体の年金運営に資する、株価がバブル期を超えました。株を所有している方には、勿論朗報であります。ただ、この株高が日本の連綿として築かれた、ものづくりを主体として資源輸入国でその資源を元に製造される、ものの価値と順調な輸出が基礎としての経済が、今後も行われるよう期待致します。



練馬区議会議員

藤井たかし



常任委員会 都市整備委員会 委員

特別委員会 予算特別委員会 委員長

各種委員会 都市計画審議会 委員

ご相談は… 藤井たかし 事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel: 5905-0533 Fax: 5947-3330

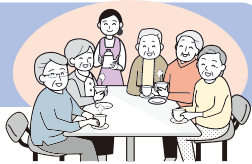
## 大江戸線



大江戸線大泉学園町への延伸に向け、新規に関連予算30億円、積立計80億円この基金を呼び水に、区が出来る事業(具体的に3駅予定地の関連まちづくり)を着実に進め、都及び交通局の工事着手の決定を心待ちにしております。



## 大泉学園駅前



大泉学園駅、再開発ビルリスモ内旧JA東大泉支店内に地域包括支援センターボランティアセンター、街かどケアカフェが移転、新設されることになりました。

農協の移転やその後の対応を見てからの、室内工事に入りますので来年初めのオープンになるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



## 生と死を考える。

### 『お別れホスピタル』

岸井ゆきのと松山ケンイチが共演するNHK土曜ドラマ『お別れホスピタル』が放送されました。本作は、末期がんなど重度の医療ケアが必要な人や、在宅の望めない人を受け入れる療養病棟を舞台としたヒューマンドラマだ。原作は、漫画家・沖田×華の同名コミック。同じく沖田原作の『透明なゆりかご』に続き、安達奈緒子が本作でも脚本を担当している。

### 『透明なゆりかご』

清原 果耶主演20～30代の女性を中心に圧倒的な共感を生んだドラマ。物語は幸せな出産ばかりでなく、中絶や死産といった産婦人科の“影”の部分にも向き合いながら、時に明るく、時に切なく、主人公たちの命への“祈り”にも似た想いをつむいでゆく作品で一昨年はまりました。

私は未だ実の親の別れを経験していませんでした。二人とも昭和7年生まれで長寿の部類化と思います。幸い田舎の介護施設に入居し職員さんに良くして頂いております。今年に入り、母親が入退院を繰り返す状況になり、議会でも話題になっている終活の課題を私自身感じております。上記のドラマ『お別れホスピタル』は特に切なく他人事でない視線で視聴いたしました。生と死と普遍的な課題との付き合い方を心して考えています。

どんなご相談でも…

藤井たかし事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel: 5905-0533 Tel・Fax: 5947-3330